科目番号	50003	分類	共通科目	履修者	高度実践助産コース（共通科目）	学年
科目名	看護教育学特論 （Theory of Nursing Education）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○ 上國料美香 ・ 浦中桂一	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 看護学教育における教育的機能の理解を踏まえ、看護基礎教育及び継続教育に関する看護教育制度を概観し、今後の看護学教育の展望と課題について考える。また、高度実践看護職としての役割を果たすために必要な教育原理と教育方法を学び、専門職者としての自己教育力、生涯教育力を具えた人材育成を目指す。 【目　標】 1．看護学教育における教育的機能を理解する。 2．看護基礎教育及び継続教育に関する看護教育制度を概観し、今後の看護教育の課題を考察する。 3．高度実践看護職としての役割を果たすために必要な教育原理と教育方法を理解し、模擬授業において活用する。 4．高度実践看護職として教育的役割を果たすための自己の課題を見出す。		1.自律して自然分娩の支援ができる能力
		2.院内・院外助産システムを担うことができる能力
	○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力
		4.周産期の救急時に対応できる能力
	○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
	○	6.研究・開発能力
		7.倫理的意思決定能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回	ガイダンス Ⅰ．看護教育における教育的機能	上國料
第2・3回	Ⅱ．看護基礎教育及び継続教育に関わる教育制度 1．看護基礎教育の歴史的変遷と看護教育制度 2．看護系大学院に関わる教育制度（各コースの教育制度：プレゼンテーション①）	上國料 浦中
第4・5・6・7回	Ⅲ．高度実践看護職としての役割を果たすために必要な教育原理と教育方法 1．授業設計・授業展開に必要な基礎知識 インストラクショナルデザイン 対象の理解、目標設定 教授技術、教育評価 展開方法：シミュレーション教育 （プレゼンテーション・ディスカッション②）	上國料 浦中
第8回	2．授業設計およびその作成過程・授業の成立要件・授業設計・教材設計 授業展開方法・学習成果の評価	上國料 浦中
第9-12回	Ⅳ．授業（研修）設計と展開の実際 1．指導計画・指導案の作成および課題の検討	上國料 浦中
第13-15回	2．模擬授業の実施・評価（プレゼンテーション・ディスカッション③） 3．授業者としてのリフレクション	上國料 浦中

事前・事後学習	事前学習：各回に該当する参考図書・配付資料を読む。プレゼンテーションの準備を行う。 事後学習：配付資料について復習する。指定した課題を実施する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組む。
評価の方法	授業計画・授業案・課題レポート（50%）、模擬授業（20%）、最終レポート（30%）により総合的に評価する。フィードバック（授業案・課題レポート、模擬授業実施の総評等）は適宜行う。
参考図書 ・資料等	杉森みど里ほか：看護教育学 第8版, 医学書院, 2023. 舟島なをみ：看護学教育における授業展開 第2版, 医学書院, 2020. 舟島なをみ監修：院内教育プログラムの立案・実施・評価 医学書院, 2015. 中井俊樹・服部律子編：看護教育実践シリーズ2 授業設計と教育評価, 医学書院, 2018. 中島 英博：授業設計(シリーズ 大学の教授法), 玉川大学出版部, 2016. 稲垣忠・鈴木克明編著：授業設計マニュアル ver.2, 北大路書房, 2015. 参考書・資料は適宜に紹介する。
備　　考	オフィスアワーについては、学生ホールの電子掲示板の掲示を参照する。